

2011年度学校教育高度化センター主催シンポジウム

# 社会に生きる学力形成をめざした カリキュラム・イノベーション —理念と方向性—

**日時** 2011年12月10日 (土)  
午後1時～5時

**会場** 福武ホール・ラーニングシアター  
**主催** 東京大学大学院教育学研究科  
学校教育高度化センター

**入場料** 無料 **定員** 200名

## ご参加申込手続き 事前申込制 当日参加不可

電子メール、ウェブサイト申込フォームのいずれかで、お名前、所属、連絡先（メールアドレス）、茶話会への参加の有無を記入のうえ、お申込下さい。お申込受付後に、担当者より確認メールを送付します。

E-mail c-kodoka@p.u-tokyo.ac.jp

[http://www.p.u-tokyo.ac.jp/~c-kodoka/sponceredevent111028\\_2.html](http://www.p.u-tokyo.ac.jp/~c-kodoka/sponceredevent111028_2.html)

\*確認メールがない場合は、受付が終了していない可能性がありますので、お問い合わせください。

今年度より、当センターを中心として、「社会に生きる学力形成をめざしたカリキュラム・イノベーションの理論的・実践的研究」(科研基盤A;代表、小玉重夫)に取り組んでいます。今回のシンポジウムでは、中等教育に焦点をあてて議論する予定ですが、初等教育との密接なつながりの中で、公教育全体のイノベーションを提案します。皆様、お誘いあわせのうえ、ぜひご参加ください。

## プログラム

司会進行 小玉重夫（センター長・基礎教育学コース）・大桃敏行（学校開発政策コース）

## 研究科長あいさつ

市川伸一（教育学研究科研究科長・教育心理学コース）

## カリキュラム・イノベーションとは何か？

「21世紀型の学校カリキュラムの構造」

佐藤学（教職開発コース）

## 新たなカリキュラムを創造する試み

「探究型学習とカリキュラム・イノベーション」 根本彰（生涯学習基盤経営コース）

「生徒の“生きにくさ”に対処する方法としての心理教育の活用」

下山晴彦（臨床心理学コース）

「社会的包摂のためのバリアフリー教育プログラムの開発に向けて」

星加良司（バリアフリー教育開発研究センター）

「社会で生きる学力の獲得を目指して」

村石幸正・福島昌子（東京大学教育学部附属中等教育学校）

## 指定討論

「カリキュラムの政治性の視点から」 金森 修（基礎教育学コース）

「社会に生きる学力形成の視点から」 市川伸一（教育学研究科研究科長・教育心理学コース）

## まとめと閉会挨拶

今井康雄（東京大学教育学部附属中等教育学校校長・基礎教育学コース）

※終了後、1時間程度の茶話会を予定しております。参加は無料です。